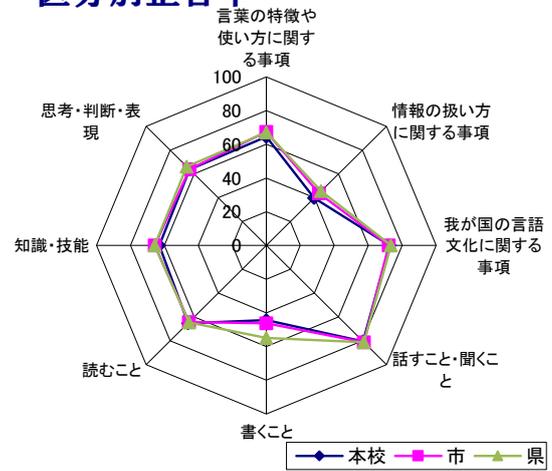


宇都宮市立富士見小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使いに関する事項	64.5	67.4	67.1
	情報の扱い方に関する事項	39.8	43.8	45.7
	我が国の言語文化に関する事項	72.6	72.1	73.4
	話すこと・聞くこと	80.5	81.2	81.2
	書くこと	44.3	46.2	54.9
	読むこと	65.2	64.3	64.5
観点	知識・技能	63.0	65.7	65.7
	思考・判断・表現	63.8	64.0	66.3



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使いに関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ●本領域の平均正答率は64.5%で、県の正答率を2.6ポイント下回っている。 ○「ローマ字とその読み方の組み合わせとして適するものを選ぶ」の平均正答率は60.2%で、県の正答率を5.2ポイント上回っている。 ●「漢字を正しく書く」の平均正答率は3問とも低く、特に送り仮名のある問題の平均正答率は51.3%で、県正答率を15.6ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生で学習した漢字について、朝の学習や宿題などで復習を行い、定着を図る。 ・新出漢字については、漢字ドリルの活用やミニテストの実施を通して、定着を確認できるようにする。また、他の教科や日常生活においても、文章を書く際には習った漢字を積極的に使うよう指導する。
情報の扱い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ●本領域の平均正答率は39.8%で、県の正答率を5.9ポイント下回っている。 ●「例文で用いられた言葉の意味として適するものを選ぶ」の平均正答率は39.8%で、県の正答率を5.9ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語辞典の使い方について再度指導するとともに、朝の学習や宿題、自主学習などでの意味調べに積極的に取り組ませる。
我が国の言語文化に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ●本領域の平均正答率は72.6%で、県の正答率を0.8ポイント下回っている。 ●「へんとつくりを組み合わせ、使わないつくりを選ぶ」の平均正答率は72.6%で、県の正答率を0.8ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字を学習する際、漢字の部首を確認するとともに、漢字辞典を活用して同じ部首やつくりをもつ漢字を集めるなど、漢字の構成に着目させていく。
話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●本領域の平均正答率は80.5%で、県の正答率を0.7ポイント下回っている。 ○「話し手が話した内容を説明した文として適するものを選ぶ」の平均正答率は90.3%で、県の正答率を2.6ポイント上回っている。 ●「司会者の話し方の工夫を説明した文として適するものを選ぶ」の平均正答率は75.2%で、県の正答率を2.5ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動を行う際に、誰もが司会者を経験できるように設定することで、司会者の役割や司会をするときのポイントを理解させる。また、相手の意見や発言をよく聞き、それらを受けて自分の発言につなげていくなど、やりとりを重視した話し合い活動が行えるようにする。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●本領域の平均正答率は44.3%で、県の正答率を10.6ポイント下回っている。 ●「みんながろう下を安全に歩く方法について、6行から8行の間で文章を書く」の平均正答率は48.7%で、県の正答率を11.5ポイント下回っている。また、4題全てにおいて、無答率が24.8%と高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に日記や作文の宿題を出すことを通して、書くことに慣れさせるとともに、指定された長さや文章構成(2段落構成など)で書く経験を積ませる。 ・他教科の学習においても、自分の考えを理由や事例を明確にしながらか表現する機会を多く設け、「書く」指導の充実を図る。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ○本領域の平均正答率は65.2%で、県の正答率を0.7ポイント上回っている。 ○物語文において、「登場人物の行動の理由を説明した文として適するものを選ぶ」の平均正答率は45.1%で、県の正答率を8.3ポイント上回っている。 ●説明文において、「指示語の内容として、適するものを選ぶ」の平均正答率は59.3%で、県の正答率を9.2ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き読書活動を推進するとともに、学年に合った本を選んで読むなど読書の質を高める指導を行う。 ・物語文では、登場人物の行動や心情の変化に注意するなど、読む視点を与えることで読解力を高める。さらに、文章を読んだ感想などを交流・共有させることで、個々の考えを広げられるようにする。 ・説明文では、段落相互の関係や指示語に注意し、筆者の意図を意識しながら読むように指導していく。